

## 10. 新規褥創発生率（d2以上）

入院中に、どれだけ新たに褥瘡が発生したかを示す指標です。看護ケアの質を評価するための指標の一つになります。

褥瘡の発生は、苦痛になるだけでなく、栄養低下や感染を引き起こし、入院期間の長期化や医療費の増大につながります。この数値が低いほど良い褥瘡予防対策がなされていると言えます。

しかし、入院患者のプロフィールにも影響されるため、病院間での単純比較はできません。

「d2」以上とは、褥瘡の深さが皮膚の真皮以上に達していることを示します。

### ■資料

2021年度日本病院会Q I プロジェクト報告書より

新規褥瘡発生率（d2以上）

平均値0.14%（前年比 +0.03）

中央値0.07%（前年比 ±0）

最大値5.09%（前年比 +0.59）

最小値0.0%（前年比 ±0）

### ■当院値の定義・計算方法

分子：該当期間の新規褥創発生件数（d2以上）

分母：該当期間の入院延べ日数

除外：

①日帰り入院（1日入院）患者数

②該当期間以前に入院し、かつ該当期間以前に褥創が認められている患者の延日数

③該当期間に入院し、その際にすでに褥創が認められている患者の延日数

年度	新規褥創発生件数	入院延べ日数	除外すべき延べ日数	新規褥創発生率
2017年度	310	283,085	9,359	0.11%
2018年度	327	273,605	9,396	0.12%
2019年度	391	273,906	9,989	0.15%
2020年度	337	258,698	9,939	0.14%
2021年度	345	257,113	9,338	0.14%